

福山大学附属備後圏域経済・文化研究センター主催

第44回  
(2025年度第1回)  
備後経済研究会

# サラ金の過去・現在・未来

要旨：高度経済成長期に生まれたサラ金は、半世紀も経たないうちに東証一部上場企業に成長し、創業者は巨万の富を手にしました。一方、借金苦にあえぐ多重債務者たちは、バブル崩壊後の長い不況の中で、夜逃げ・自殺・心中に追い込まれ、社会問題になります。ともすると「悪魔的ビジネスモデル」などと言われるサラ金ですが、創業者たちは一代で自社を隆盛に導いた有能な起業家であったことは間違ひありません。サラ金はどのようなイノベーションを生み、なぜ急速に成長したのか？社員はどのように働き、顧客はなぜ金を借りねばならなかったのか？そして、消費者金融ビジネスはどこに向かうのか？歴史を踏まえて現在と未来を展望したいと思います。

**日時：5月30日（金）18:30～20:30**

**場所：福山大学社会連携推進センター（福山駅前）205号室**

## 講師：小島庸平氏

東京大学大学院経済学研究科准教授、2011年、東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程修了。農学博士。東京農業大学国際食料情報学部助教などを経て現職。

著書『大恐慌期における日本農村社会の再編成』(2020年、日経・経済図書文化賞受賞)。『サラ金の歴史-消費者金融と日本社会』(中公新書、2021年、サントリ学芸賞受賞)など。